

ダビデが恵みを歌う

1 主よ、私はとこしえにあなたのいつくしみを歌い、私の口をもつてあなたのまことをよろずよに告げ知らせます。

主がダビデに誓う

3 あなたは言われました、「私は私の選んだ者と契約を結び、私のしもべダビデに誓った、4 『私はあなたの子孫をとこしえに堅くし、あなたの王座を建てて、よろずよに至らせる』」。

ダビデが恵みを歌う

5 主よ、もろもろの天にあなたのくすしきみわざをほめたたえさせ、聖なる者のついで、あなたのまことをほめたたえさせてください。

11 もろもろの天はあなたのもの、地もまたあなたのもの、世界とそこの中にあるものとは、あなたがその基をおかれたのです。

15 祭りの日の喜びの声を知る民はさいわいです。主よ、彼らはみ顔の光のなかを歩み、

18 われらの盾は主に属し、われらの王はイスラエルの聖者に属します。

回ソロモンの神殿で仕える歌うたい 2Ch 5 : 12 またレビびとの歌うたう者、すなわちアサフ、ヘマン、エドトンおよび彼らの子たちと兄弟たちはみな亜麻布を着、シンバルと、立琴と、琴をとりて祭壇の車に立ち、百二十人の祭司は彼らと一緒に立てラッパを吹いた。：13 ラッパ吹く者と歌うたう者とは、ひとりのように声を合わせて主をほめ、感謝した、そして彼らがラッパと、シンバルとその他の楽器をもって声をふりあげ、主をほめて「主は恵みあり、そのあわれみはとこしえに絶えることがない」と言ったとき、雲はその宮すなわち主の宮に満ちた。

回ソロモンの神殿奉獻の祈りの最後 2Ch 6 : 42 主なる神よ、どうぞあなたの油をそがれた者の顔を褪げないでください。あなたのしもべダビデに示されたいつくしみを覚えて下さい。」。

回ソロモンの祈りに答える 2Ch 7 : 17 あなたがもし父ダビデの歩んだようにあたしの前に歩み、あたしが命じたとおりにすべて行って、あたしの定めとおきてとを守るならば、：18 あたしはあなたの父ダビデに契約して『イスラエルを治める人はあなたに欠けることがない』と言ったとおりに、あなたの王の位を堅くする。：19 しかし、あなたがたがもし翻って、あたしがあなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拜むならば、：20 あたしはあなたがたをあたしの与えた地から抜き去り、またあたしの名のために聖別したこの宮をあたしの前から投げ捨てて、もろもろの民のうちにこゝとあざとし、笑い草とする。

回ダビデの子

Mtt 1 : 1 アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。 Act 2 : 30 彼は預言者であって、『その子孫のひとり王位につかせよう』と、神が堅く彼に誓われたことを認めていたので、：31 キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は黄泉に捨てられることなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである。 Rom 1 : 2 この福音は、神が、預言者たちにより、聖書の中で、あらかじめ約束されたものであって、：3 御子に關するものである。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、：4 聖なる霊によれば、死人からの復活により、御力をもって神の御子と定められた。これがあしたしちの主イエス・キリストである。 2Tm 2 : 8 ダビデの子孫として生まれ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていないさい。これがあたしの福音である。

回神の家の土台は堅く立つ

1Tm 3 : 15 万一あなたが選ばれる場合には、神の家でいかに生活すべきかを、あなたに知ってもらいたいからである。神の家というのは、生ける神の教会のことであって、それは真理の柱、真理の基礎なのである。 Eph 2 : 20 またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。 Hbr 11 : 10 彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都を築くまで、また建てたのは、神である。 Rev 21 : 14 また都の城壁には十二の土台があり、それには小羊の十二使徒の十二の名が書いてあった。

回御霊の歌、聖徒の祈りで誓う

キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩（詩篇）と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かつて歌いなさい。 (コロサイ人への手紙 3章16節) 巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、堅琴と、香に満ちた金の鉢を持って、香は聖徒たちの祈りであった。彼らは新しい歌を歌った。 (ヨハネの黙示録 5章8～9節)

Jhn 1 : 14

そして言はるがごとく、あしたしちのうちに宿った。あしたしちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまこととに満ちていた。

Rev 22 : 21

主イエスの恵みがあなたがたすべての者と共にあるように。

主がダビデに誓う

30 もしその子孫がわがおきてを捨て、わがさばきに従って歩まないならば、31 もし彼らがわが定めを犯し、わが戒めを守らないならば、32 私はつえをもつて彼らのとがを罰し、むちをもつて彼らの不義を罰する。33 しかし、私はわがいつくしみを彼から取り去ることなく、わがまことにそむくことはない。34 私はわが契約を破ることなく、わがくちびるから出た言葉を変えることはない。私はひとたびわが聖によつて誓った。私はダビデに偽りを言わない。

36 彼の家系はとこしえに続き、彼の位は太陽のように常に私の前にある。37 また月のようにとこしえに堅く定められ、大空の続くかぎり堅く立つ」。 (セラ

回賛美しながら預言する、先見者へマン

また、ダビデと軍の長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉任のために取り分け、堅琴と琴とシンバルに合せて預言する者とした。 (卍) 王の先見者へマンの子で、神のこばを通して (王の) 角を高く上げる者たちであった。 (歴代誌 第1 25章1～5節)

回ソロモンの神殿の歌うたい

また、歌い手であるレビ人全員、すなわち、アサフ、ヘマン、エドトン、および彼らの子たちや兄弟たちも、 (卍) まるで一人のよう一致して歌声を響かせ、主を賛美し、ほめたたえた。 (卍) そのとき、雲がその宮、すなわち主の宮に満ちた。 (歴代誌 第2 5章12～13節)

回ヨシャファテの断食 vs モアブ、アンモン、エドム

ときに、主の霊が会衆の中で、アサフ族の出であるレビ人やハジエルの上に臨んだ。 (卍) 彼は言った。「ユダのすべての人々、エルサレムの住民、およびヨシャファテ王よ、よく聞いてください。主はあなたがたにこう言われます。『この大軍のゆえに恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、神の戦いである。 (卍) ケハテの子孫、コラの子孫であるレビ人たちは立ち上がり、大声をあげてイスラエルの神、主を賛美した。 (歴代誌 第2 20章)

回ヒゼキヤの礼拝改革 vs アッシリア

(卍) アサフの子孫 (卍) ヘマンの子孫 (卍) エドトンの子孫 (卍) ヒゼキヤ王と高官たちが、ダビデおよび先見者アサフのことばをもって主を賛美する (卍) (歴代誌 第2 29章)

回ヨシヤの過越祭

アサフの子孫である歌い手たちは、ダビデ、アサフ、ヘマン、および王の先見者エドトンの命令とおりにその役目に就いていた。 (歴代誌 第2 35章15節)

回バビロンから帰還した子孫

昔から、ダビデとアサフの時代から、歌い手たちのかしたちがいて、神への賛美と感謝の歌がささげられた。ゼルバベルの時代とネヘミヤの時代、全イスラエルは、歌い手と門衛のために定められた分を日ごとに守っていた。 (ネヘミヤ記 12章46～47節)

神の怒り

恵みが無い

46 主よ、いつまでなのですか。とこしえにお隠れになるのですか。あなたがたの怒りはいつまで火のように燃えるのですか。 47 主よ、人のいのちの、いかに短く、すべての人の子を、いかにはかなく造られたかを、みこころにとめてください。 48 だれか生きて死を見ず、その魂を陰府の力から救いようものがあるでしょうか。 (セラ

誓いが破られている

38 しかしあなたは、あなたの油をそがれた者を捨ててしりぞけ、彼に対して激しく怒られました。 39 あなたはそのしもべとの契約を廃棄し、彼の冠を地になげうって、けがされました。 40 あなたはその城壁をことごとくこわし、そのとりでを荒れすたせられました。 41 そこを通り過ぎる者は皆彼をかすめ、彼はその隣り人のあざけりとなりました。 42 あなたは彼のあだの右の手を高くあげ、そのもろもろの敵を喜ばせられました。 43 まことに、あなたは彼のつるぎの刃をかえして、彼を戦いに立たせられなかつたのです。 44 あなたは彼の手から王のつえを取り去り、その王座を地に投げすてられました。 (セラ

回契約の箱の前で仕える歌うたいたち

1Ch 16 : 4 ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあげ、感謝し、ほめたたえさせた。 1Ch 25 : 1・・・アサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分ち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言する者にした。 1Ch 25 : 3・・・琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトン・・・ 1Ch 25 : 5 これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者へマンの子たち・・・

回ダビデの墓屋の契約の箱の前で、主に感謝をささげる 1Ch 16 : 8-36

(詩篇 105 : 1-15)

：8-11 主に感謝し、そのみ名を呼び、そのみわざをまろもろの民の中に知らせよ。主にむかつて歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしきみわざを語れ。その聖なるみ名を語れ。どうか主を求めん者の心が喜ぶように。主とそのみわざを求めよ。つねにそのみ顔をたずねよ。そのしもべアブラハムのすえよ、その選ばれたヤコブの子らよ。主のなされたくすしきみわざと、その奇蹟と、そのみ口のさばきとを心にとめよ。彼はあわれみの神、主にいます。そのさばきは全地にある。主はとこしえにその契約をみごころにとめられる。これはよきように命じられたみ言葉であって、アブラハムと結ばれた契約、イサクに誓われた約束である。主はこれを堅く立ててヤコブのために定めとし、イスラエルのためにとこしえの契約として、言われた、「あなたにカナンの地を与えて、あなたがたの受け継ぐ約束の分け前とする」と。その時、彼らの数は少なく、歌えるに足らず、かの国で旅びととなり、国から国へ行き、この国からほかの国へ行つた。主は人の彼らをしえたげの者をゆるさず、彼らのために王たちを懲しめて、言われた、「わが油をそがれた者たちにはあってはならない。わが預言者たちに害を加えてはならない」と。 (詩篇 96)

：23-1 全地よ、主に向かつて歌え。日ごとにその歌を言べ伝えよ。もろもろの国のうちにその栄光をあらわし、もろもろの民の中にくすしきみわざをあらわせ。主は大いなるかたにいまして、いとほめたうべき者、もろもろの神にまさって、恐るべき者だからである。もろもろの民のすべての神はむなしい。しかし主は天を造られた。響と威厳とはそのみ前にあり、力と喜びとはその聖所にある。もろもろの民のやからよ、主に唱せよ、栄光と力とを主に唱せよ。そのみ名にふさしい栄光を主に唱せよ。供え物を撰んで主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拜め。全地よ、そのみ前におののけ。世界は堅く立つて、動かされることはない。天は喜び、地はたのしみ、もろもろの国民の中に満つるものとは喧りどよめき、田畑とその中のすべての物は喜び。そのとき林のもろもろの木も主のみに喜び歌う。主は地をさばくためにこられるからである。 (詩篇 106 : 1 / 47-48)

：34 主に感謝せよ、主は恵み深き方、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。また言え、「あわれみの救の神よ、あわれみを救い、もろもろの国民の中からあわれみを集めてお救いください。そうすればあなたの聖なるみ名に感謝し、あなたの誉を語るでしょう。イスラエルの神、主は、とこしえからとこしえまでほむべきかな。